

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400242		
法人名	株式会社アクタガワ		
事業所名	ハートフルホーム島田東		
所在地	静岡県島田市東町1394		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	令和6年4月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400242-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400242-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和 6年 2月 8日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設はグループホーム2ユニット併設になっております。毎月行事のイベントを実施する際は1・2階合同で実施し入居者・職員も笑顔で過ごせるよう心掛けています。  
入居者それぞれのライフスタイルに合わせ家事、洗濯等、家での過ごし方をそのまま施設でできるように支援させて頂いております。また、生活リハビリを導入しリハビリの器具を使用せず、日常生活の延長として生活動作のなかで指先の運動や足腰の運動を実施しADLの維持・向上に努めています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者と職員は、法人理念を基に、職員全員で決めた事業所理念「地域と寄り添い 笑顔で安心できる 生活の実現」の実践に取り組んでいる。法人は、「困ったときのお助け本」や個人面談、定期的な研修による職員の資質向上と、ホーム長会議やチーム会議にて職員との情報共有と意見交換を図りながら、開設1年の事業所運営を支援している。コロナ制限緩和を受けて、地域住民や家族との交流機会を増やすべく、地域行事への参加、災害対策等の協力関係構築に向けた検討を続けている。職員は、職員手作りによる利用者好みの食事の提供や、事業所内運動会・さつまいも掘り・クリスマス会など季節ごとの行事を企画し、利用者個々の能力に応じた楽しい暮らしづくりの支援を心掛けている。協力医・看護師の訪問による医療連携と、感染対策マニュアルに基づく換気・消毒と清掃により、安全で清潔な共有空間作りに努めている。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域と寄り添い 笑顔で安心できる 生活の実現」を理念にお客様の尊厳を第一に考え、家庭的な環境の下、日常生活の支援を行っています。	法人理念を基に、開設時に職員全員で決めた事業所理念の実践に取り組んでいる。法人の「困ったときのお助け本」を携帯し、日々の申し送りや定期的なチーム会議、法人ホーム長会議により、法人・管理者と職員間の意見交換や情報共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の人々と気軽に挨拶を交わし、いつでも立ち寄れる環境を心掛けています。	コロナ禍による交流制限のある中での事業所開設のため、地域住民との交流機会は少なかつたが、町内会に参加して地域との情報交換を図りながら、地域行事への参加や交流を心掛けている。	コロナ制限下での開設となった事業所のため、地域との交流の方法を模索している現状だが、今後は、法人内他事業所の好評価事例を検証しながら、地域住民への積極的な働きかけを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護事業所の連絡会や介護相談員との意見交換会の場で情報を発信し認知症の方への理解を深めてもらっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況やイベントの報告をし、地域との交流に役立つ情報の提供を受け、積極的に交流を図っています。	地域公会堂の場を使用して、2か月に1回対面開催している。市・地域包括支援センター職員、利用者家族、職員が参加して、事業所での活動報告と意見交換を行い、事業所運営に繋げている。地域代表との情報共有にも取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	近くの地域包括支援センターに、事業所の実情や、取り組みを報告・相談したり、地域の介護ニーズを伺ったりと連携が図れるよう努めています。	事業所開設時より管理者は、法人担当者と共に、市担当者・近隣の地域包括支援センター職員と情報交換を図り、都度相談・連携ができる協力関係の構築に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束0宣言をし、身体拘束をしないケアについて研修を行っています。	指針・マニュアルを整備し、2か月に1回「身体拘束適正化委員会」を開き、事業所での状況を把握している。職員は、法人による新入職員研修と年2回「メディパス研修」による研修を受け、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	虐待防止に関する指針の策定と研修の実施について、24年度から義務付けられることから、身体拘束適正化に関する委員会・研修と虐待防止の委員会・研修は、区別して実施する仕組み作りを期待します。

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての研修を行うと共に、自己振り返りの機会も設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	近くの地域包括支援センターに、相談し連携が図れるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をとっていただき、内容について説明・確認をさせていただくよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員を交え、意見交換を行うと共に、定期的なカンファレンスを通じて、対応の周知を図っています。	新規施設交流会や運営推進会議により、施設での状況報告と意見交換を図っている。写真付きのお便りや事業所HPにて利用者の暮らしぶりを報告すると共に、運営推進会議や面会時での家族からの意見の聴き取りに努めている。	開設1年の事業所のため、家族との連絡機会を増やすよう努めていますが、来所できない家族との関わり方として、法人が行っている「家族アンケート」を活用し、事業所運営に反映する仕組み作りを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のチーム会議等で、職員の意見や提案を聞く機会を設け、担当者の会議にて議題・課題としてあげることができる仕組みがあります。	日々の申し送りと毎月のチーム会議にて、管理者と職員との情報共有と意見交換を図っている。管理者・ブロック長による年2回の個人面談やキャリアパスに基づく研修の仕組みを整え、職員の役割や資格による自己目標管理や意見の聴き取りに注力している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年各自の目標管理シートを作成し、前期・後期に分けた評価を行い、目標に向かっていきます。 労働時間においては、フレックスタイム制度を有効に活用しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ(個別)、キャリアパス、マナー等の研修を受ける機会を設けています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修の受講や、事業所連絡会の出席をし、他事業所との交流や、意見の交換を行っています。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	できる限り寄り添いながらのコミュニケーションを心掛けています。職員間で情報共有ができるようカンファレンスを行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	情報交換に努め、望ましい対応についてご意見を伺っています。入居前にお試し期間(1週間)を設ける事もでき、ご意見・ご希望をお伺いしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談、プラン提案を経て、ご意見を伺いサービスの提供につなげています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様とのコミュニケーションを重視し、ご意見を伺い日常生活をレクリエーションとして捉えた働きかけに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への報告や相談を大切にしています。情報の交換により、望ましい対応の思索に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事に出向いたり、地域の方々に施設にお招きしたりし、馴染みの環境が離れてしまわぬよう支援しています。	運営推進会議の家族参加や地域行事への参加など、家族・友人との関係継続のための働きかけを続けてきた。コロナ制限緩和を受け、利用者・家族個々の状態や意向を聴き取りながら、関係継続の支援に努めている。	

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	参加型レクリエーションの実施や、移動時の協力を働き掛け、関わり合える支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設行事のご案内等、声掛けを心掛け疎遠になってしまわぬよう意識しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴などの情報収集をし、コミュニケーションによる把握も含め、個別対応の検討に活かしています。	入居の事前面談時に家族が記入する「興味関心チェックシート」の情報は、ケアマネジャーがまとめて職員全員で確認している。入居後は、ケアポイント表や申し送りノートで情報共有し、利用者・家族の意向の把握と実現に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の語らいや、ご家族との会話の中から情報の収集をし、ケアへと結び付けられるよう、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	働きかけを重視し、その方がその気になれるお誘いの仕方について職員間で大切にしている。 無理のない動作と行動への付き添いや見守り、介助に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	チーム会議、カンファレンス等の場において、職員による観察やご家族からの情報を集め、現場での対応やプランに反映できるよう努めています。	「施設サービス計画実施チェック表」を活用し、職員全員が介護計画に基づく支援内容を、常に確認できる仕組みを整えている。利用者の状態は、毎月チーム会議でのカンファレンスにて意見交換を図り、フロア主任を中心にチームケアを意識した介護計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別の介護経過記録を利用し情報の共有に活用しています。定期的また状況変化時のカンファレンスを通し、計画見直しの検討をしています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じた対応ができる努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域代表、民生委員を、運営推進会議にお招きし、住み慣れた地域の中で、安心して暮らしていけるよう支援に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医とは24時間連携の体制を整え、定期往診の他にも随時相談や往診対応を受けられる体制を整えています。	月2回協力医の訪問診療と週1回看護師の訪問により、利用者の体調を管理している。訪問診療時には薬剤師が同伴し、訪問記録書により医師・薬剤師・看護師との情報共有を図っている。協力医は、24時間連携して適切な対応を受けることができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪看との医療連携体制が整っており、健康管理や看護チームの対応が随時受けられる体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時や退院後の処置・対応について主治医の協力が得られるよう体制を整えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設で対応可能・不可能な事について説明をしています。状態に変化があった場合、その後の望ましい対応について話し合いをしています。	「指針・マニュアル」を整備して、入居時に事業所の対応を利用者・家族へ説明し、同意を得ている。状態変化時には、家族の意向を確認して、再度同意を得ている。職員は、訪問看護師等による定期的な研修を受け、適切な支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを元に対応研修を実施しています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを元に研修を実施し、災害を想定した避難訓練、事業継続計画の訓練を実施しています。	年2回、水害・火災を想定した訓練を実施している。非常階段を使った避難を体験し、消防署との連携と職員の対応を確認している。BCP計画策定状況を運営推進会議で報告し、地域との協力を検討している。備蓄品は、水・米・缶詰など3日分を目途に保管・管理している。	訓練実施で得た課題は、次回訓練へ継続して改善されることが重要なことから、課題を整理した訓練記録の整備を期待します。災害時業務継続計画(BCP)において、地域住民と連携した防災訓練の実施を期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を損なわない言葉かけや対応は研修を実施しながら職員間で気をつけています。	個人情報保護やHPへの写真掲載について、入居時に利用者・家族に同意を得ている。法人研修計画に則り、定期的にスキルアップ研修を実施している。職員間で確認し合うとともに、課題が散見された際には、チーム会議で検討している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴に努め、自己決定できる様努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望に沿って過ごせる様努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月理美容の予約をとり実施しています。髭剃り等希望がある場合は職員が対応する場合があります。不定期ではありますが女性にはお化粧品とマニキュアを楽しんで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も共に同じ食事を摂り、介助・見守りが必要な時には隣席・近くで介助・見守りをしています。また、現有能力に応じて支度・片付けをいただいています。	業者から取り寄せる食材を利用し、職員手作りの食事を提供している。職員は、利用者個々の能力に応じて食事の準備や片付けを共に行いながら、利用者の好み・季節に合わせた献立作りやおやつレクリエーションを実施し、食事を楽しむ工夫を心掛けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業務日誌を活用し個々の食事量を毎日記録・把握しています。食事の形態も個々にあったものを提供しています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯ブラシ、スポンジブラシによるブラッシングや洗浄液による口腔洗浄を実施しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し時間誘導や声掛けで対応しています。トイレ内では自立に向けた支援を心掛けています。	手書きの排泄チェック表を活用して、利用者個々の排泄パターンを把握しながら、利用者の能力に応じて支援している。夜間はポータブルトイレ・おむつ利用者でも、日中は二人介助や生活リハビリを兼ねたトイレ利用など、安全を配慮した支援を心掛けています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動の推進で働きかけています。また、主治医に相談し、薬の調整も実施しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者のご希望に沿える様努めています。	週2～3回9時30分～15時入浴を目途に、利用者の体調や希望に合わせて、柔軟な対応を心掛けている。機械浴の利用や、柚子湯などの季節に合わせた入浴剤を工夫をして、利用者が安心して楽しく入浴できる支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	可能な限り自宅での生活スタイルに沿った対応を心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については管理表をもとに確認・実施しています。薬情報はいつでも確認できるようにしています。また薬変更時は申し送りや朝礼時に周知徹底しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	現有能力、各々の嗜好に応じ、役割が持てるよう働きかけています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外の天候等によるが、散歩をしたり外のテラスで日光浴をしています。	感染状況・対策に配慮しながら、近隣の散歩やテラスでの日光浴、畑仕事などを取り入れて、利用者個々の状態に合わせた支援を続けてきた。制限緩和を受け、大井川SLの見学やサツマイモ掘りなど、季節行事を取り入れて、積極的に外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設管理と自己管理で分かれているがご自身で管理されているお客様を職員が把握し紛失しないよう努めています。希望に応じて買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望時には職員が仲介し対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地の良い空間づくりに努めています。季節ごとの掲示物を作成し季節感が味わえるようにしています。	季節に合わせた置物や飾りを備えて、家庭での雰囲気大切に季節に配慮した環境作りを心掛けている。CO2測定器を設置すると共に、感染症対策マニュアルに基づく定期的な換気(1時間に1回)と朝・夕・食事前の消毒、毎食後の清掃を実施して、清潔で居心地の良い環境作りに注力している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に畳やソファを配置し自由に利用できるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者、ご家族と相談し馴染みのものがあれば持参して頂いている。	クローゼットを備えた居室には、使い慣れた筆筒など馴染みのものを持ち込み、利用者好みの居室作りを支援している。定期的な清掃と換気により、安全で清潔な居室作りを心掛けている。衣替え等は、家族と連携しながら支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、居室には目印があり、手摺を利用し自立した生活が送れる環境が整っている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400242		
法人名	株式会社アクタガワ		
事業所名	ハートフルホーム島田東		
所在地	静岡県島田市東町1394		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=2295400242-00&ServiceCd=320&Type=search](https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2295400242-00&ServiceCd=320&Type=search)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和 6年 2月 8日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設はグループホーム2ユニット併設になっております。毎月行事のイベントを実施する際は1・2階合同で実施し入居者・職員も笑顔で過ごせるよう心掛けています。  
入居者それぞれのライフスタイルに合わせ家事、洗濯等、家での過ごし方をそのまま施設でできるように支援させて頂いております。また、生活リハビリを導入しリハビリの器具を使用せず、日常生活の延長として生活動作のなかで指先の運動や足腰の運動を実施しADLの維持・向上に努めています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/>	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) <input type="radio"/>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) <input type="radio"/>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/>		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域と寄り添い 笑顔で安心できる 生活の実現」を理念にお客様の尊厳を第一に考え、家庭的な環境の下、日常生活の支援を行っています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の人々と気軽に挨拶を交わし、いつでも立ち寄れる環境を心掛けています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護事業所の連絡会や介護相談員との意見交換会の場で情報を発信し認知症の方への理解を深めてもらっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況やイベントの報告をし、地域との交流に役立つ情報の提供を受け、積極的に交流を図っています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	近くの地域包括支援センターに、事業所の実情や、取り組みを報告・相談したり、地域の介護ニーズを伺ったりと連携が図れるよう努めています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束0宣言をし、身体拘束をしないケアについて研修を行っています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての研修を行うと共に、自己振り返りの機会も設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	近くの地域包括支援センターに、相談し連携が図れるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をとっていただき、内容について説明・確認をさせていただくよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員を交え、意見交換を行うと共に、定期的なカンファレンスを通じて、対応の周知を図っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のチーム会議等で、職員の意見や提案を聞く機会を設け、担当者の会議にて議題・課題としてあげることができる仕組みがあります。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年各自の目標管理シートを作成し、前期・後期に分けた評価を行い、目標に向かっていきます。 労働時間においては、フレックスタイム制度を有効に活用しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ(個別)、キャリアパス、マナー等の研修を受ける機会を設けています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修の受講や、事業所連絡会の出席をし、他事業所との交流や、意見の交換を行っています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	できる限り寄り添いながらのコミュニケーションを心掛けています。職員間で情報共有ができるようカンファレンスを行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	情報交換に努め、望ましい対応についてご意見を伺っています。入居前にお試し期間(1週間)を設ける事もでき、ご意見・ご希望をお伺いしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談、プラン提案を経て、ご意見を伺いサービスの提供につなげています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様とのコミュニケーションを重視し、ご意見を伺い日常生活をレクリエーションとして捉えた働きかけに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への報告や相談を大切にしています。情報の交換により、望ましい対応の思索に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事に出向いたり、地域の方々を施設にお招きしたりし、馴染みの環境が離れてしまわぬよう支援しています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	参加型レクリエーションの実施や、移動時の協力を働き掛け、関わり合える支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設行事のご案内等、声掛けを心掛け疎遠になってしまわぬよう意識しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴などの情報収集をし、コミュニケーションによる把握も含め、個別対応の検討に活かしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の語らいや、ご家族との会話の中から情報の収集をし、ケアへと結び付けられるよう、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	働きかけを重視し、その方がその気になれるお誘いの仕方について職員間で大切にしている。 無理のない動作と行動への付き添いや見守り、介助に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	チーム会議、カンファレンス等の場において、職員による観察やご家族からの情報を集め、現場での対応やプランに反映できるよう努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別の介護経過記録を利用し情報の共有に活用しています。定期的また状況変化時のカンファレンスを通し、計画見直しの検討をしています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じた対応ができる努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域代表、民生委員を、運営推進会議にお招きし、住み慣れた地域の中で、安心して暮らしていけるよう支援に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医とは24時間連携の体制を整え、定期往診の他にも随時相談や往診対応を受けられる体制を整えています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪看との医療連携体制が整っており、健康管理や看護チームの対応が随時受けられる体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時や退院後の処置・対応について主治医の協力が得られるよう体制を整えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設で対応可能・不可能な事について説明をしています。状態に変化があった場合、その後の望ましい対応について話し合いをしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを元に対応研修を実施しています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを元に研修を実施し、災害を想定した避難訓練、事業継続計画の訓練を実施しています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を損なわない言葉かけや対応は研修を実施しながら職員間で気をつけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴に努め、自己決定できる様努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望に沿って過ごせる様努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月理美容の予約をとり実施しています。髭剃り等希望がある場合は職員が対応する場合があります。不定期ではありますが女性にはお化粧品とマニキュアを楽しんで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も共に同じ食事を摂り、介助・見守りが必要な時には隣席・近くで介助・見守りをしています。また、現有能力に応じて支度・片付けをしていただいています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業務日誌を活用し個々の食事量を毎日記録・把握しています。食事の形態も個々にあったものを提供しています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯ブラシ、スポンジブラシによるブラッシングや洗浄液による口腔洗浄を実施しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し時間誘導や声掛けで対応しています。トイレ内では自立に向けた支援を心掛けています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動の推進で働きかけています。また、主治医に相談し、薬の調整も実施しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者のご希望に沿える様努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	可能な限り自宅での生活スタイルに沿った対応を心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については管理表をもとに確認・実施しています。薬情報はいつでも確認できるようにしています。また薬変更時は申し送りや朝礼時に周知徹底しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	現有能力、各々の嗜好に応じ、役割が持てるよう働きかけています。		

静岡県(ハートフルホーム島田東)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外の天候等によるが、散歩をしたり外のテラスで日光浴をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設管理と自己管理で分かれているがご自身で管理されているお客様を職員が把握し紛失しないよう努めています。希望に応じて買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望時には職員が仲介し対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地の良い空間づくりに努めています。季節ごとの掲示物を作成し季節感が味わえるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に畳やソファを配置し自由に利用できるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者、ご家族と相談し馴染みのものがあるれば持参して頂いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、居室には目印があり、手摺を利用し自立した生活が送れる環境が整っている。		